

## 平成26年度第1回行政評価委員会

日 時：平成26年7月3日 18時30分～19時05分

場 所：伊予市庁舎3階第3委員会室

出席者：妹尾克敏委員長、門田眞一副委員長、芳岡毅委員、西畑眞知子委員、曾根弘輝委員

事務局（坪内・小笠原・岡井・木曾）

傍聴者：なし

### 1 開会

会議の成立及び傍聴者はいないことを確認した。

### 2 事務局紹介

事務局前任者の挨拶及び新体制の事務局紹介を行った。

### 3 議事

#### (1) 行政評価委員会委員について

(事務局)

今後の進行は、委員会規則第5条第1項の規定により委員長にお願いする。

(委員長)

皆さん久しぶりである。資料の次第に従い議事を進める。議事1、行政評価委員会委員について、事務局からご説明いただきたい。

(事務局)

今回の行政評価委員会は、昨年から学識経験者2人、公募による市民2人、市長が認めたもの2人の計6人で進めていただいていた。しかしながら、南法律事務所弁護士の福岡壮一委員が本年3月末をもって事務所を退任なされた。後任について同法律事務所と相談をしたところ、本年は諸事情により欠員としたいとの申し出があり、庁内で協議をした結果、本年度の行政評価委員会は、1人少ない5人の委員で進めていただきたいということとなった。委員の定数は委員会規則第3条第1項において6人以内となっており、本年度については、欠員ではなく委員5人で行うということをお願いしたい。

(委員長)

ただいまの説明で疑問、質問等があればお願いしたい。つまり福岡先生はもう南事務所にいらっしゃらないと。それよりも松山にいらっしゃらないということだな。

(委員)

ああそうなのか。

(委員長)

もともと京都の方である。致し方ないのではないか。よろしいか。

## (2) 行政評価フローについて

(委員長)

はい、続いて議事の2である。改めて事務局からご説明いただきたい。

(事務局)

配布している伊予市行政評価システム事務事業実施フロー図に基づいて説明する。

昨年度（平成25年度）は平成25年7月から10月にかけて、平成24年度の事務事業のうち37事務事業について外部評価を審議いただいた。その結果に基づき、経営者会議による最終判断を行い、12月定例議会にて報告をした。

報告内容としては、全事務事業の最終判断をした行政評価結果報告書、並びにその資料の中にある外部評価の項目に「別冊〇頁」と記載しているものについてまとめている平成24年度事務事業外部評価結果の2冊となっている。後者が委員の皆さまに評価いただいた内容である。このような形で昨年度の最終判断については、結論が下ったとご理解願いたい。

平成25年度事務事業については、平成25年4月の担当責任者確定から基本情報を入力を進め、11月に中間評価を行っている。26年度に入り、現時点では一次評価が完了し、7月から一次評価終了段階の内容にて市民への公表、意見公募を行っている。

これらの事業のうち、委員から抽出された事務事業及び二次評価者（＝部長職）の判断により外部評価に図ることが望ましいとされた事務事業について、本年度の行政評価委員会にて審議いただくこととなる。

その後は行政評価委員会の審議結果も含め、経営者会議にて事務事業の方向性を決定し、12月の定例議会に報告すると同時に市民へ最終的な評価結果を公表することとしている。

(委員長)

ただいまの説明で質問があれば、ご自由にお問い合わせください。また忙しくなる。よろしいか。

### (3) 今後の委員会日程及び進行（予定）について

(委員長)

事務局から説明いただきたい。

(事務局)

委員の皆さまによる評価委員会は今年2年目であり、行政評価における現状や課題について、大方の様子をご理解いただいていると思う。前年度の行政評価委員会において既に54件の事務事業を抽出していただいている。これを基本に審議を進めたいと考えている。

配布している伊予市行政評価委員会審議日程（案）をご覧ください。会議は1回につき2時間程度の予定で開催する。10月上旬まで今回を含めて月に2回のペースで7回の委員会を行い、外部評価に付された全ての事務事業についての評価を実施する計画である。10月中旬に外部評価の内容を確定し、11月上旬に市長をトップとした経営者会議による市の最終判断、そして12月議会において議会への報告を行いたい。

審議の手法は昨年と同様、担当課による説明を行い、委員の皆さんに意見を頂く方向で考えている。ただ、評価対象事業が抽出事業だけでも54事業と、昨年に比べ大幅に増えていることから、事務局としては別資料の外部評価抽出一覧表にあるとおり、関連する事業（例：第2回消防団設備事業、消防団施設事業）はなるべく一括審議とさせていただきたいと考えている。

(委員長)

以上の提案で進めていくようである。それでは委員会の審議手法と開催日程案について確認する。外部評価の手法については、昨年度から導入した担当課、原課からの説明とし、それを聞いた後で評価を行うという手法を継続してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(委員長)

それでは、次回からの開催日と時間を決定したい。審議日程案をあらかじめピックアップしていただいている。次回が7月22日（火）の18時30分から、第3回は8月5日（火）の18時30分からである。このように大体2、3週間に1回のペースで進めてまいりたいと思う。これだけの委員の頭数なので、微調整が必要になるときは、あらかじめ事務局に連絡いただいた後で、また委員間で再調整させていただきたい。

(委員)

よろしいか。7月22日は調整をすれば何とか大丈夫であるが、ひょっとした

ら遅れてくるという可能性もある。それから8月26日の週は出張があるため難しい。

[協議の結果、7月22日はそのまま、8月26日は1週繰上げ19日開催とした。]

#### (4) その他

(委員長)

この際是非審議しておきたいという事項があればお願いしたい。

(委員)

一覧表で54件とある。1月28日の議事録が出ており、私も全部照合したわけではないのだが、それを提示していただいたという理解でよいのだな。

(事務局)

そうだ。

(委員長)

先ほど説明があったとおり、関連する事業を一括するとなると全部で40件というカウントになるろうかと思う。危機管理課、子育て支援課、長寿介護課、下水道課、水道課、学校教育課あたりで、かなり一くくりにできると思う。

事務局からはよろしいか。

(事務局)

まずは会議の公開について。昨年度委員に確認いただいているとおり公開としている。次回以降の委員会においても今回同様傍聴の周知をし、その都度受け付ける形としたい。また会議録についても公表となっている。こちらもなるべく次回の会又は早い機会に前回の審議内容をお渡しし、確認後ホームページに公開する形を取らせていただきたい。

次に、行政評価対象の事業シートについては、第2回及び第3回予定の分を準備している。昨年見ていただいた様式は変わっていないので、そちらを見ていただき、次回、次の会と準備いただきたい。もし新たに外部評価に係る事業があれば、その都度分かる形を取り、事前にお渡しするよう進めたい。

最後に、この会議録の筆耕翻訳は外部委託を考えている。鮮明な音声で外部委託業者に音声データを渡す必要があるため、次回からマイクをお渡しするので、マイクを通した形で発言いただきたいと思う。

(委員長)

なるほど。

(委員)

そのうち実況中継が入るといのはどうか。

(委員長)

それは議会が始めた後になるだろう。

本番は次回以降ということであり、具体的にシートを見ないとリアリティは生まれてこないだろうと思う。ほかに意見はないか。

(委員)

よろしいか。先ほどのフロー図の件で行政評価の意見公募を7月に行うこととしている。市の広報やホームページにも載っているのだが、この内容は市役所の入口に置いているのだろうか。つまり意見公募のやり方である。今までもあまり意見公募がない、これは周知の仕方という点もあるのだろうが、その点の確認をしたい。

(事務局)

広報7月号において各ロビーに置いていると紹介しているのだが、恥ずかしながら今回組織改変が大きく変わり、課長と職員もかなり変わっていることから、一部の自己評価が完了していない。資料がデータベースであるのならその都度追加が可能であるが、紙ベースの追加はなかなかうまくいかない。当然7月1日から開始と公表もしているので、こちらの不手際である。なるべく早い段階で各地域事務所の窓口でも市民に見てもらえる状態とし、意見が頂ける形で対応させていただきたい。

(委員長)

よろしいか。今日の時点でほかに確かめておきたいこと等々が何もないようであれば、本日の議事はこれにて終了する。ご協力ありがとうございました。

(事務局)

以上をもって、第1回行政評価委員会の全ての予定は終了した。先ほど申したとおり、第2回、第3回の事業シートをただ今から配布する。

午後7時05分 閉会